

**7 - 6 北陸 - 近畿および近畿 - 山陰地殻活動総合観測線における連続観測結果
(1999年11月~2000年10月)**

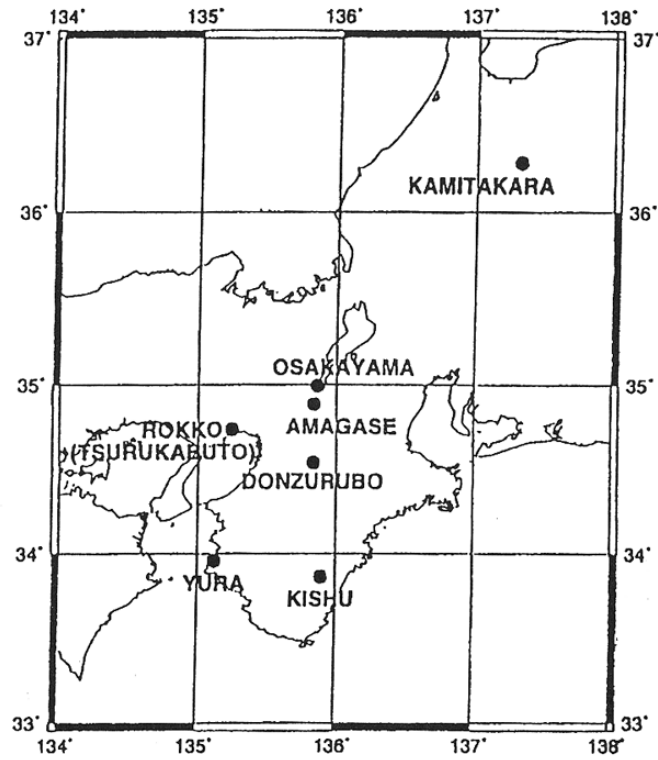
**Results from Monitoring Chains of Crustal Activities in Kinki District(November 1, 1999
-October 31, 2000)**

京都大学 防災研究所・大学院理学研究科

Disaster Prevention Research Institute and Graduate School of Science, Kyoto University

北陸 - 近畿および近畿 - 山陰の両地殻活動総合観測線を構成する観測点のうちから、第1図に示す六甲鶴甲、上宝、天ヶ瀬、逢坂山、由良、紀州および屯鶴峯の7点で観測された最近1年間(1999年11月~2000年10月)の地殻ひずみを第2図から第6図に示す。一部の観測点では、傾斜および併行観測をしている雨量、気圧も示す。

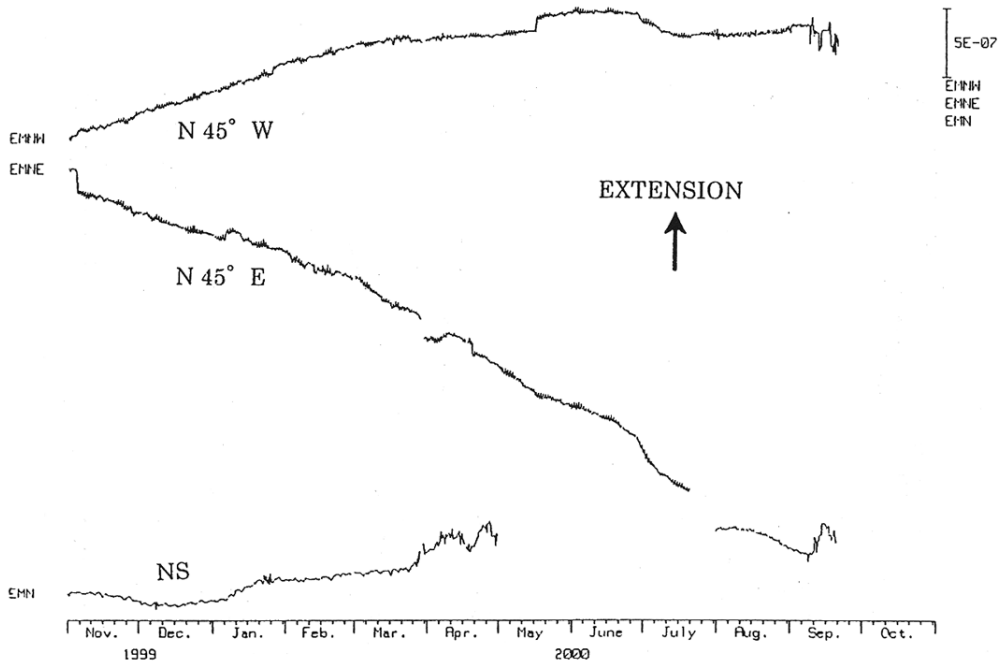
この期間、個々の有感地震と関連して特に議論すべき変動は認められなかった。ただ、鳥取県西部地震の際のひずみステップについては、別稿とした。年間を通じての変動において特徴的なことは、本年6 - 7月の梅雨期における降水量が例年より少なく、この時期の降雨による擾乱が小さくなり、通常の季節変動のパターンとは異なった変化を示した観測点が多い。



第1図 観測点の位置図

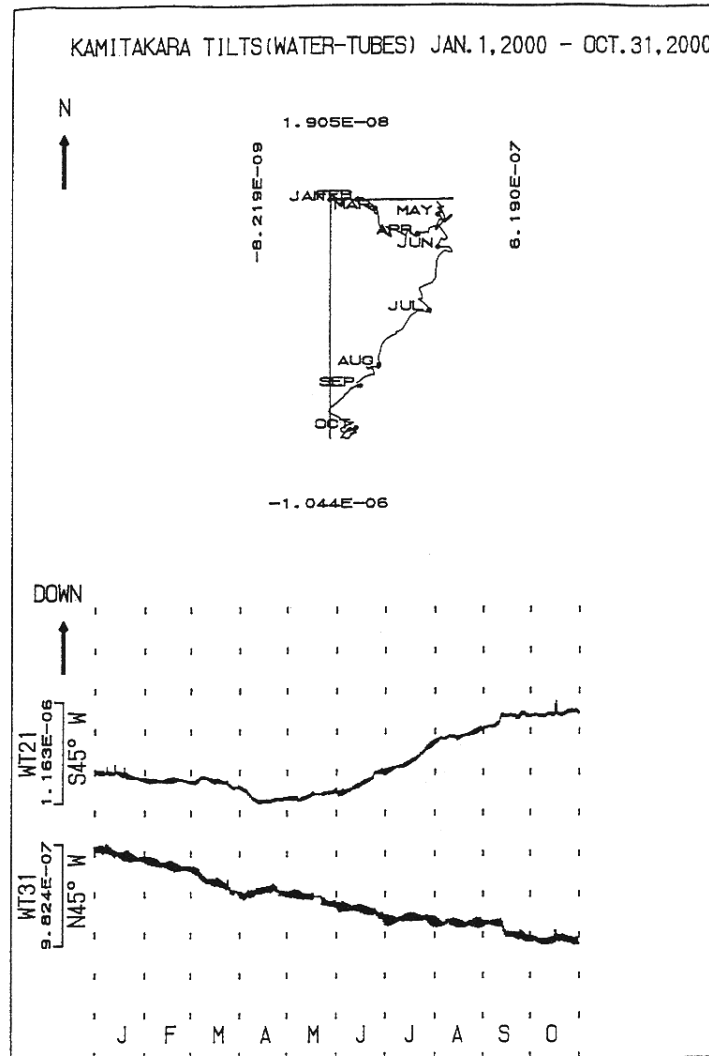
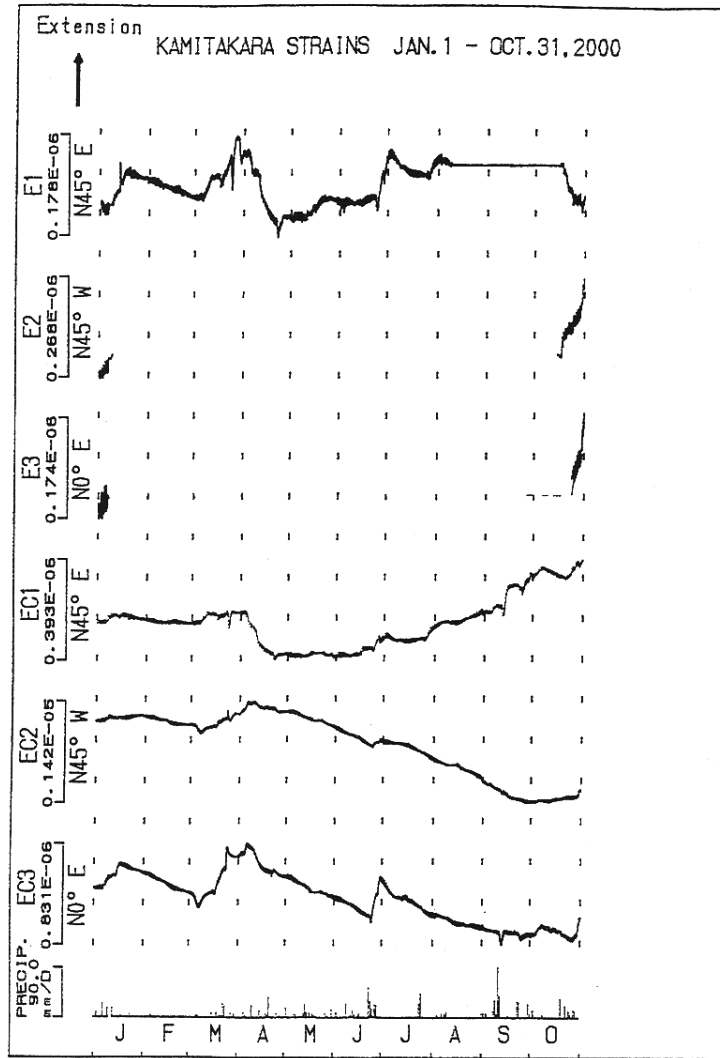
Fig.1 Observation stations.

ROKKOU(TSURUKABUTO)



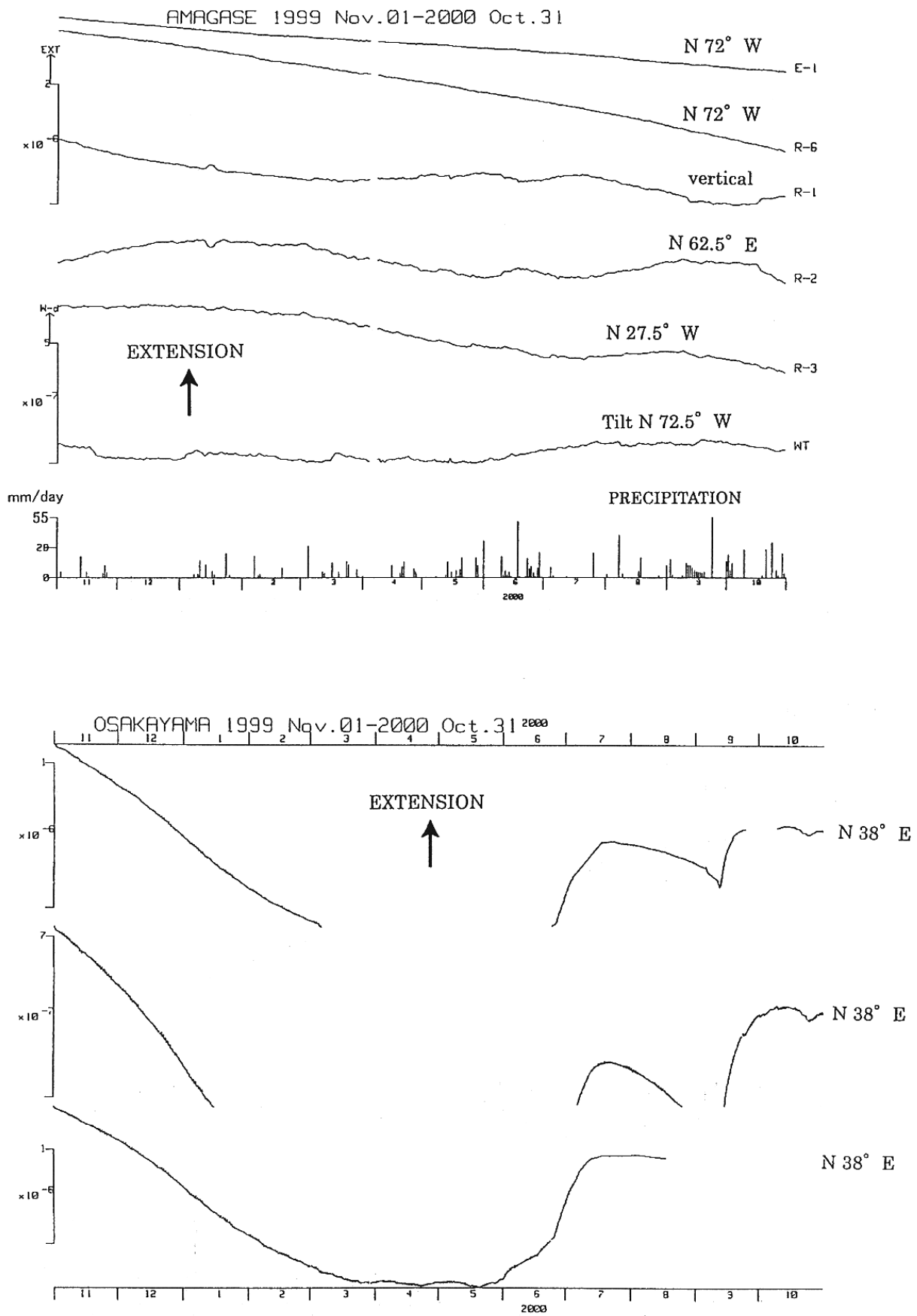
第2図 六甲鶴甲におけるひずみ変化 (1999年11月~2000年10月)

Fig.2 Strain change at Rokkotsurukabuto (November, 1999 - October, 2000).



第3図 上宝におけるひずみ・傾斜変化と日雨量 (1999年11月~2000年10月)

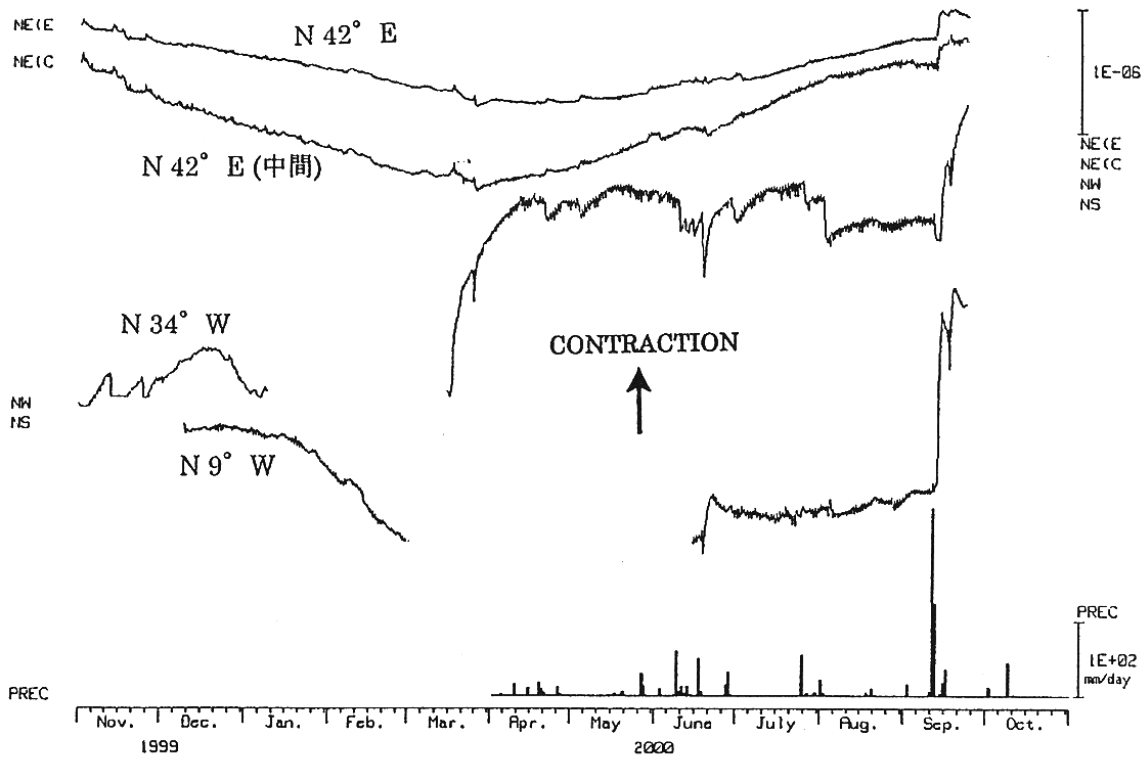
Fig.3 Strain change, tilt change and daily precipitation at Kamitakara (November, 1999 - October, 2000).



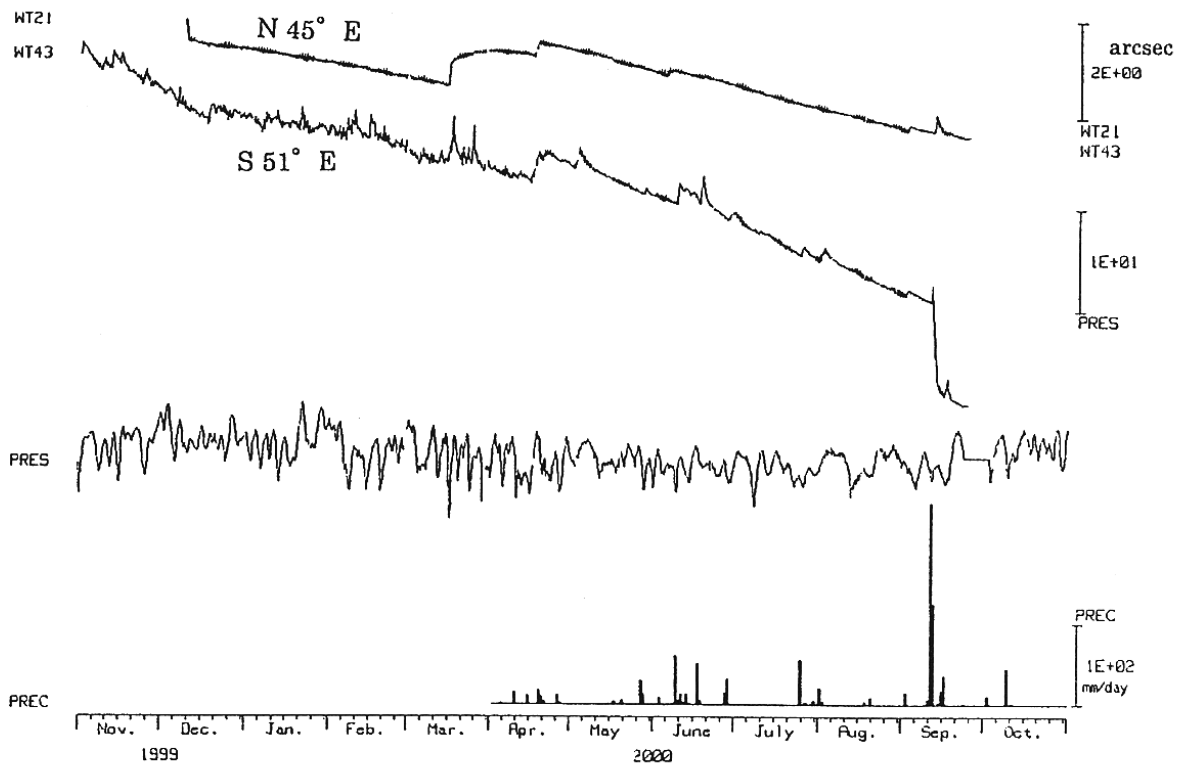
第4図 天ヶ瀬におけるひずみ変化・傾斜変化・日雨量と逢坂山におけるひずみ変化(1999年11月~2000年10月)

Fig.4 Strain change, tilt change and daily precipitation at Amagase and Strain change at Osakayama (November, 1999 - October, 2000).

YURA(strain)



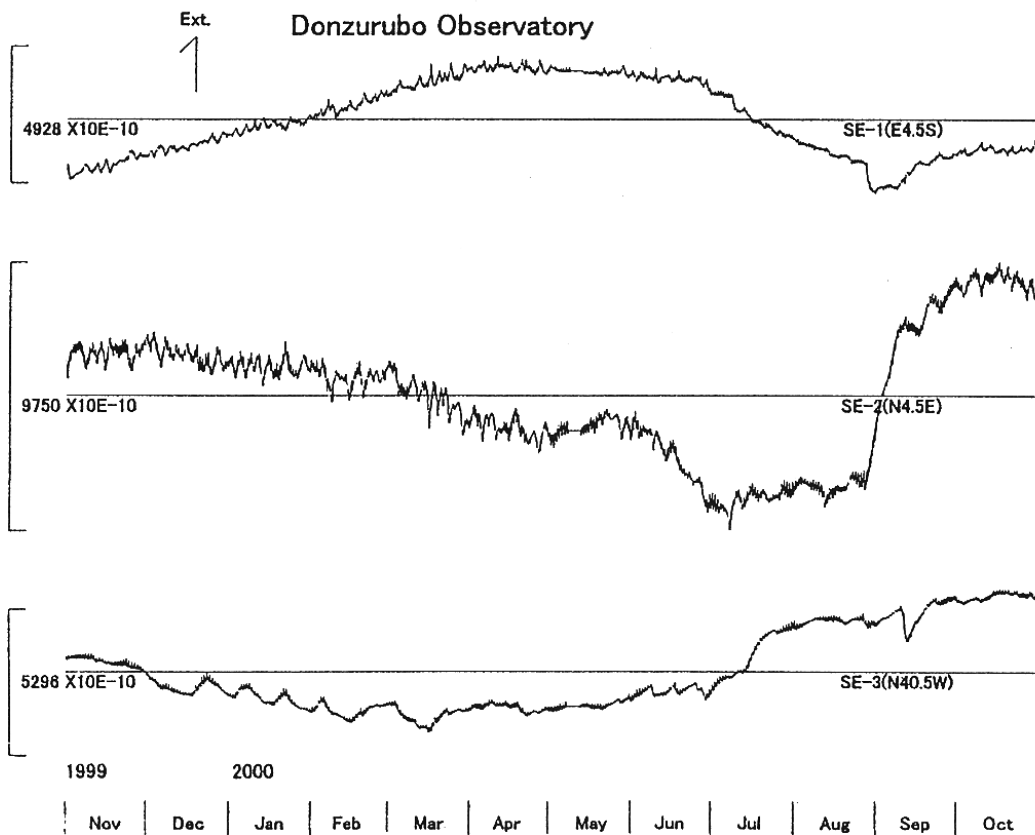
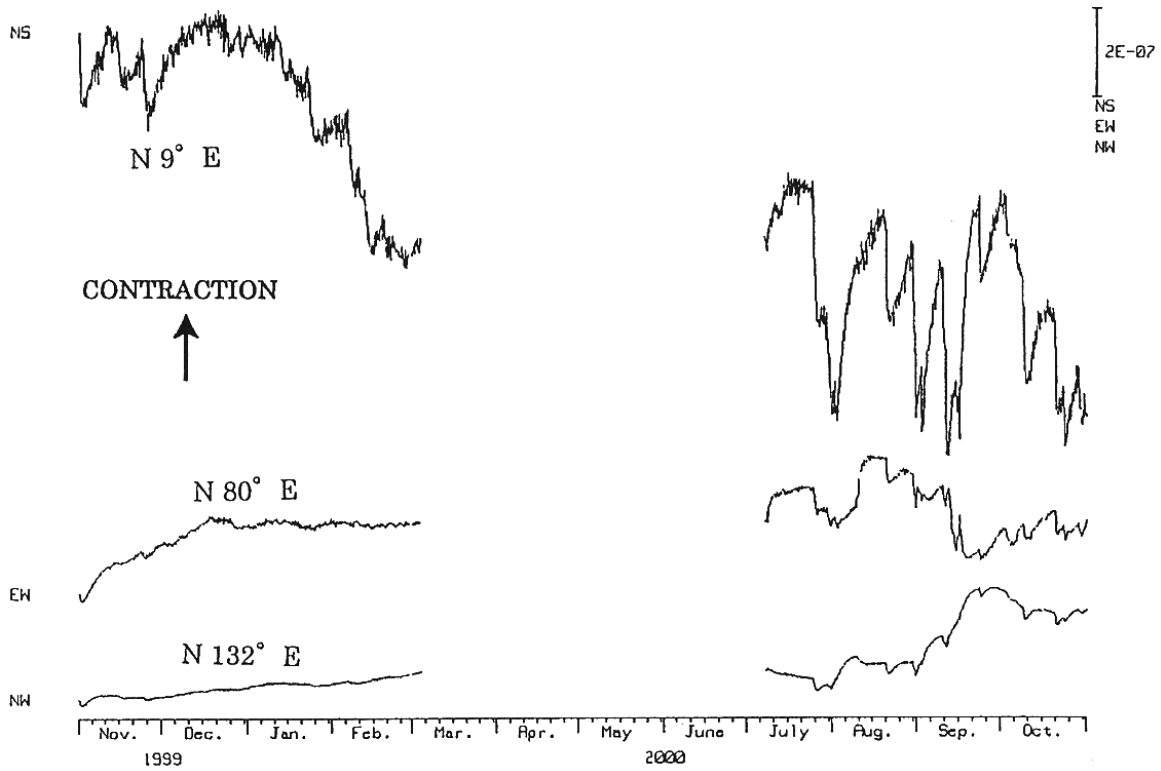
YURA(tilt)



第5図 由良におけるひずみ・傾斜変化と気圧(1999年11月~2000年10月)

Fig.5 Strain change, tilt change and barometric pressure at Yura (November, 1999 - October, 2000).

KISHU



第 6 図 紀州・屯鶴峯におけるひずみ変化 (1999 年 11 月 ~ 2000 年 10 月)

Fig.6 Strain changes at Kishu and Donzurubo. (November, 1999 - October, 2000).